Rock and Rentには、エルブルス登頂に必要な質の良い装備がすべて揃っています。短パン姿で飛行機に乗って来ても大丈夫です。これは冗談ではありません。大切なのは、必要なセットを事前に予約しておくことです。そうすれば、到着までにご用意しておきます。私たちはこの装備を、ただ一つの基準で選びました。それは、2001年から私たちのガイドがグルー プを率いてきたエルブルスの条件に、どれだけ適しているかということです。Mountain Guideのツアー参加者は、Rock and Rentでの装備レンタルが15%割引になります。すでにスキーウェアをお持ちで、それがエルブルス登頂に使えるかどうかわからない場合は、「アルペンスキー用のウェアはエルブルスに適していますか？」を読むことをおすすめします。必要なものの一部は、すでにお持ちかもしれません。このリストは、Mountain Guideのガイドたちの経験に基づいて作られています。チーム全体で数千回のエルブルス登頂を実施してきたため、クラシックな南ルートの実際の条件が反映されています。 書類：

パスポート
航空券または鉄道の乗車券
医療保険
バウチャー（外国人参加者向け）

個人装備：

ザック（30-40リットル）
ダッフルバッグ（80-100リットル）
寝袋：快適温度が、6月から9月（両月を含む）は0～+10°C、10月から5月（両月を含む）は-20～-10°Cのものバスケットの直径が70mm以上のトレッキングポール
アイゼン
クラシックなピッケル（ハーネスに連結するための5-6mmのアクセサリーコード2-3m付き）
クライミングハーネス
ヘルメット
カラビナ3個。ミトンをはめたままでも扱いやすいため、大きめのものが望ましいです
セルフビレイ用ランヤード（カウズテール）

ウェアと靴：

アルペンスキー用のウェアはエルブルスに適していますか？
ダブルまたはトリプルの登山靴（プラスチック製または革製）。シングルの靴は、暖かいオーバーブーツ（ゲイターと混同しないこと）を併用する場合に限り使用可能ですトレッキングブーツまたは防水のトレッキングシューズ。5月と6月初めの高所順応日には雪があることがあるため、ブーツのほうが望ましいです。6月中旬から9月末まではスニーカーでも構いませんが、足首の保護は劣ります
防水シェル：ジャケットとパンツ。推奨されるメンブレンの性能値は10,000/10,000以上です
フリースの上下
ベースレイヤー（上下）
フード付きの厚手で暖かいダウンジャケット。エルブルスに適したダウンジャケットは、通常およそ700g以上の重さがあります
暖かいミトン
厚手のグローブ（例：スキーグローブ）
薄手のフリースグローブ
バンダナ：谷での日差し対策や、寒いときに顔や首を温めるために
暖かい帽子
登頂日用の暖かいトレッキングソックス
日よけ帽子
トレッキングパンツとTシャツ（長袖が望ましい）
高所順応日とトレッキング日用のトレッキングソックス

その他：

バッテリー持続時間が12時間以上のLEDヘッドランプ横からの光を完全に遮る、カテゴリー3-4のサングラス悪天候、風、降雪時用のカテゴリー1-2のスキーゴーグル
1リットルの保温ボトル（プッシュボタン式でない蓋のものが望ましい）顔の下半分用の防風マスク（スカーフでも部分的に同じ役割を果たせます） SPF 30-50の日焼け止め
SPF 15のリップクリーム

個人用救急キット
伸縮包帯、またはサポーター、あるいはその両方
ゲイター：必須ではありませんが、特に5月と6月には役に立つことがあります
化学カイロ（ハンドウォーマー）：必須ではありませんが、役に立つことがあります

9日間の南からのエルブルス登頂のために、一度のツアーのためだけにすべての装備を新たに購入する必要はありません。ほとんどの装備はRock and Rentでレンタルでき、ルー トに出る前にはガイドがセットの確認を手伝います。